



東海市水防訓練及び船島コミュニティ 大雨避難行動訓練を合同で実施します ～地域住民や市内協力事業者とともにいきます～

東海市防災訓練の一環として、大田川流域を対象に大雨時等の越水対策・堤防法面崩壊対策及び情報伝達訓練を主体とした水防訓練と合わせて船島コミュニティが水害手作りハザードマップを活用した、大雨避難行動訓練を行います。

■日時

令和5年（2023年）6月18日（日） 午前9時30分から午前11時まで

■場所

船島小学校グラウンド及び上野新川左岸（船島小学校東）

■参加者

- (1) 水防訓練：市職員、消防団員、防火協力会、大田川流域浸水対策協議会、東海市防災活動協力事業者協会、東海ドローン協会など約250名
- (2) 大雨避難行動訓練：船島コミュニティ約20名

■内容

- (1) 改良積み土のう工法による越水対策訓練及び堤防法面崩壊対策訓練
- (2) 巡視警戒要員及び本部の情報伝達演習訓練
- (3) ドローン空撮による情報収集訓練
- (4) 船島コミュニティが水害手作りハザードマップを活用した大雨避難行動訓練

■写真等

昨年の加木屋地区のまち歩きの様子



今年の越水対策訓練箇所



問合せ	都市建設部土木課 担当：名古屋（なごや）、船尾（ふなお）、岡部（おかべ） 052-603-2211、0562-33-1111（内線413、415）
-----	---

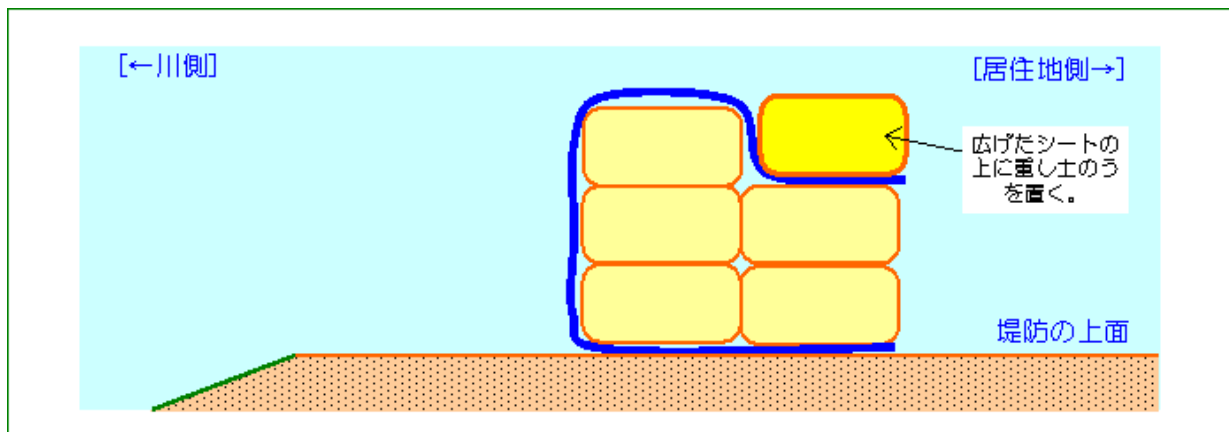
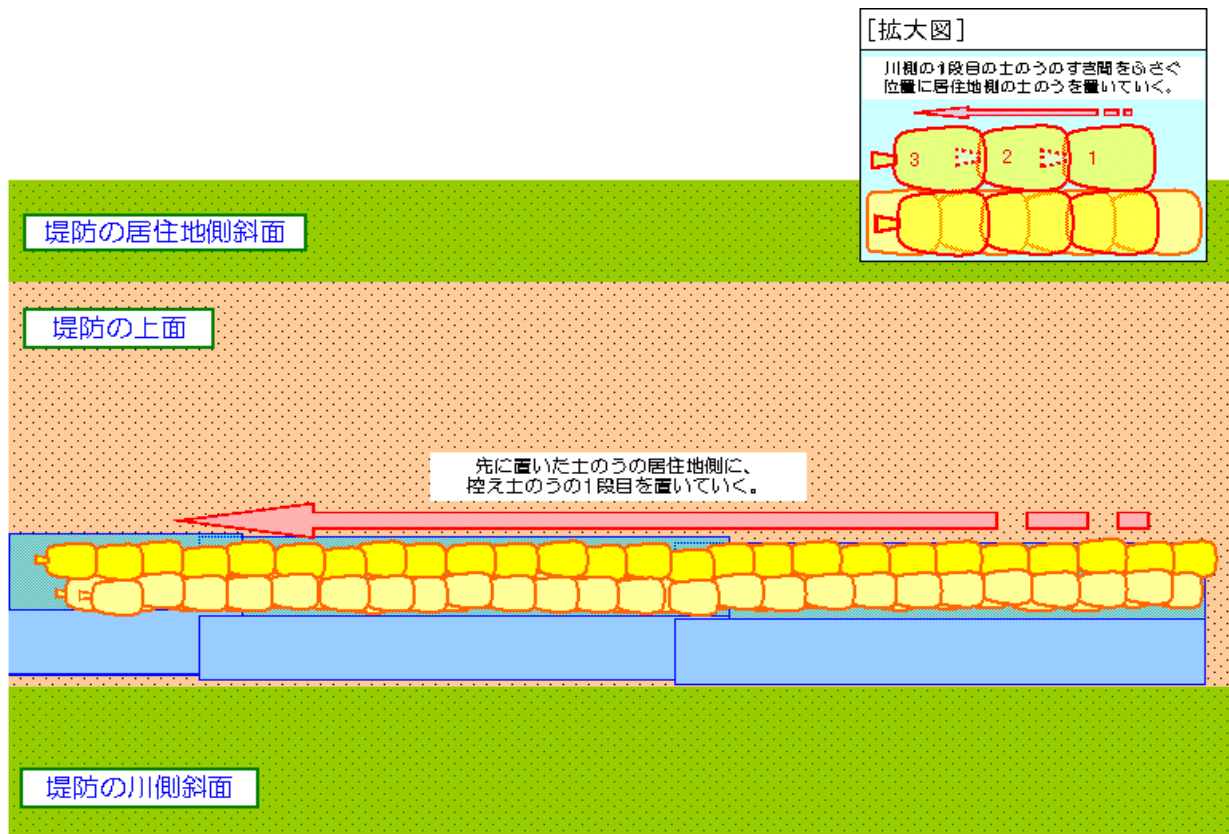
越水対策訓練

(市職員等)

改良積み土のう工法

・目的

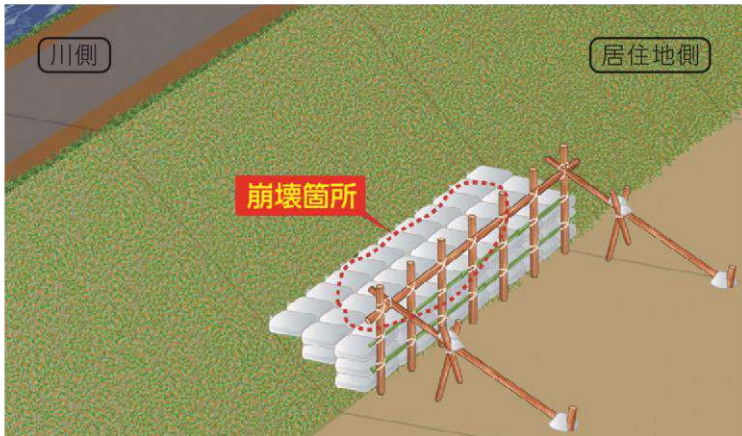
洪水によって堤防が沈下した場合や増水する速さが著しく、河川水が堤防を超えるおそれがあるときに用います。水防工法の中でも最も基本となる重要な工法です。



堤防法面崩壊対策訓練

(東海市防災活動協力事業者協会)

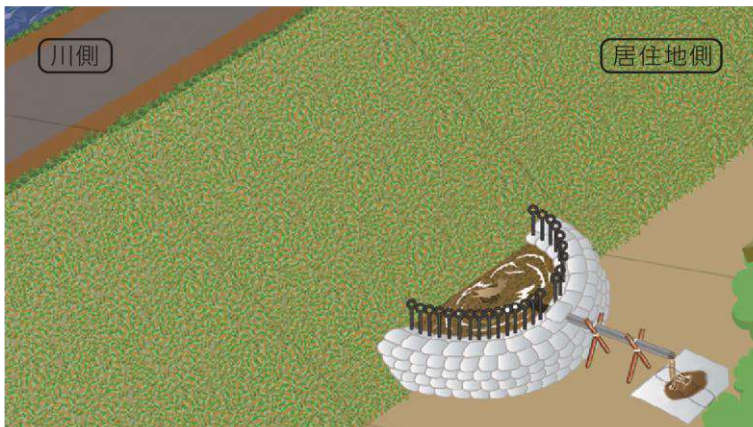
① 杭打ち積み土のう工



目的

居住地側の堤防法面が崩壊した時、あるいは法崩れの恐れがある時に、法面の下部に杭を打ち並べて積み土のうを行い、被害の拡大を防止する工法です。

② 月の輪工



目的

増水中に、堤防の居住地側に漏水により水が吹き出し、その漏水口が拡大されるのを土のうを積んで水を溜め、その水圧（河川水位と漏水口の水位差を縮小）で堤体土砂の流出を抑える工法です。

